



SUAM
THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM

<https://museum.saga-u.ac.jp/>



つちからいづる

佐賀大学のやきもの

令和元年

8月23日[金] ↓ 9月23日[月・祝]

佐賀大学美術館 1階

【開館時間】

10時～17時(入館は16時30分まで)

【休館日】

月曜日(ただし9月16、23日は開館、翌休館)

【主催】佐賀大学美術館

【協力】佐賀大学芸術地域デザイン学部

(有田セラミック分野)

他(佐賀大学大学院生・卒業生)

瀧 一夫

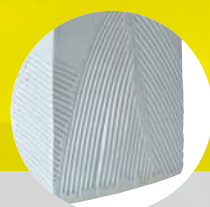
宮尾 正隆

田中 右紀

湯之原 淳

三木 悦子

甲斐 広文



観覧無料

佐賀大学では1953年(昭和28年)に特設美術科の学科目の一つとして窯芸教育を開始して以降、窯芸に携わる多くの作家や技術者たちを育成してきました。さらに有田焼創業400年という記念すべき年を迎えた2016年(平成28年)には、全国唯一の窯業専門の専修学校であった佐賀県立有田窯業大学校(4年制)と統合し、芸術地域デザイン学部の有田セラミック分野として新たな一歩を踏み出しました。

本展は佐賀大学窯芸教室から現在の有田セラミック分野で教員を務めてきた6名の作家たち、そして7名の大学院生・卒業生の作品を通して本学における窯芸教育の変遷をたどるものです。

有田焼に代表される佐賀のやきものが、長い歴史の中で絶えずその様式や技術を革新させてきたように、佐賀大学の窯芸教育においてもまた、各世代の教員たちによってやきものの新たな方向性が模索されてきました。とりわけ今日の有田セラミック分野では、地域を支える産業としての観点から、プロダクトデザインやマーケティングといった新しい窯芸教育が実践されていることでも注目されています。

元来、徒弟制度の中で継承されてきたやきものの伝統を、大学教育の中でどのように継承し、そして発展させてきたのか。個性豊かな歴任教員の作品にその歴史を振り返るとともに、今日なお進化し続けるやきものの魅力をご紹介します。



滝 一夫

福岡県出身
[1910~1971]

東京美術学校彫塑科塑像部で彫刻を学ぶ。同校卒業後、陶芸に転向。商工省陶磁器試験所に勤務し、造形物から実用製品まで幅広く研究、制作する。日展に出品を続けながら、フランス・パリのチュルヌスキー美術館やイタリア・ファエンツァ陶磁器博物館の現代日本工芸展にも出品するなど国内外で活躍した。研究所退職後も精力的に作品を発表し、1956年に佐賀大学に着任、教育学部窯芸教室教授(初代)となる。



緑釉壺

TAKI Kazuo



田中 右紀

佐賀県出身
[1965~]

東京藝術大学大学院美術研究科修了。一位窯(佐賀県嬉野町)を経て、「開キルン」田中右紀・セラミック・スタジオを設立後、佐賀大学文化教育学部講師となる。長三賞現代陶芸ビエンナーレにて1席長三大賞受賞、第54回ファインツァ国際陶磁ビエンナーレ入選。またオランダやスペインでのワークショップに招聘されるなど国内外で活躍。現在は窯芸・造形を専門として佐賀大学芸術地域デザイン学部にて教授を務める。



Cast A・X・O

TANAKA Yuhki



三木 悦子

大阪府出身
[1977~]

岡山県立大学大学院デザイン学研究科工芸工業デザイン学修了。有限会社堀江陶器勤務後、佐賀県立有田窯業大学校にて勤務。工芸都市高岡2001クラフト展奨励賞受賞(翌年銀賞)。オランダ・アイトナーヘンにあるDesign Academy Eindhovenで、石膏型成型と常圧圧力鑄込みのワークショップを開催。韓日陶磁器デザイン交流展、海外におけるグループ展に多数参加。現在は陶磁器分野のプロダクトデザインを専門に佐賀大学芸術地域デザイン学部にて講師を務める。



「松」「竹」「梅」

MIKI Etsuko



宮尾 正隆

宮崎県出身
[1938~]

佐賀大学教育学部在学時に瀧一夫の指導を受け陶磁器に興味を持つ。同校の教育専攻科美術工芸過程を修了後、佐賀県窯業試験場に技師として勤める。佐賀県立有田工業高校窯業科教諭を経て1972年に佐賀大学に着任。中国や韓国など国外でも後進の指導に当たる。佐賀美術協会理事長、佐賀県陶芸協会理事の要職を務めながら、日展、光風会展など数多くの展覧会に出品。現在も精力的に作家活動を続けている。



吉野ヶ里「豊穡」

MIYAO Masataka



湯之原 淳

福岡県出身
[1963~]

福岡教育大学大学院美術教育修了後、佐賀県立有田窯業大学校にて勤務。スロベニア国際陶芸トリエンナーレ入選。福岡県美術協会秀作展、ARITA in MEISSEN exhibition、福岡県美術協会筑後展、日米作家交流展、アジア現代彫刻会国際交流展、東釜山大学ワークショップ等、国内外のグループ展やワークショップに多数参加している。現在は窯芸・造形を専門に佐賀大学芸術地域デザイン学部にて講師を務める。



記憶するかたち~Plasticity~

YUNOHARA Kiyoshi



甲斐 広文

宮崎県出身
[1965~]

佐賀大学教育学部特別教科(美術・工芸)教員養成課程卒業、同大学教育専攻科(美術工芸)卒業。佐賀県立有田窯業大学校、佐賀県窯業技術センターにて勤務。GEN展、天山アートフェスタin小城5人展(room design factory)等のグループ展に参加。また2018年、2019年には宮崎県立美術館実技講座で講師を務めるなど、有田焼の伝統技法の継承に力を入れている。現在は窯芸・装飾成形を専門に佐賀大学芸術地域デザイン学部にて講師を務める。



姿変系切松竹梅皿

KAI Hirofumi

佐賀大学大学院生および卒業生出品者

- ・黒木 由美
- ・古賀 崇洋
- ・佐藤 明歩
- ・辻 拓真
- ・西川 智成
- ・森山 寛二郎
- ・山口 恵美



SUAM

佐賀大学美術館

<https://museum.saga-u.ac.jp/>

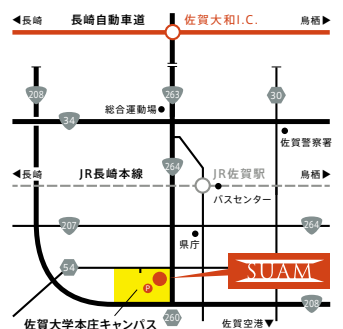
〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 TEL.0952-28-8333 FAX.0952-28-8215

交通アクセス

- 佐賀駅バスセンター4番のりばから
佐賀市営バスで佐賀大学前下車……………約15分
【4】佐賀女子短大・高校線(中央大通り・辻の堂・佐賀大学前経由)
【11】佐賀大学・西与賀線
【12】佐賀大学・東与賀線
【63】佐賀女子短大・高校線(紡績通り・与賀町・佐賀大学前経由)
- 佐賀駅からタクシーで……………約10分
- 佐賀空港からタクシーで……………約20分
- 佐賀大和I.C.から自家用車で……………約20分

駐車場(無料:守衛所への申し出必要)

県道54号線沿いの大学正門側に、美術館に隣接した「美術館利用者優先駐車場」がございます。



※掲載されている作品は出品作品と異なることがあります。